

降積雪期の注意事項！！！！

例年、降雪期に、雪害等による犠牲者が発生しています。近年では平成18年豪雪時に152名に上る多数の死者が発生しており、昨冬季も大雪、暴風雪等により、死者65名、重傷者337名等の人的被害が発生しているほか、住宅被害や、電力、ガス、水道等のライフラインの被害、交通障害、農林水産業への被害等も発生しています。

これから本格的な降雪期を迎えるに当たり、以下の点に注意してください。

(1) 在宅時の安全な過ごし方等について

- ・大雪、暴風雪等が予想される場合に不要不急の外出は避けましょう。
- ・懐中電灯・携帯ラジオ・食料・飲料水等を準備しましょう。
- ・FF式暖房機の吸排気口付近の積雪状況を確認しましょう。

※FF式暖房機とは、灯油が燃焼する際に発生する燃焼ガスを給排気筒を経由し屋外に排気する暖房機です。



(2) 車両の運転等について

- ・大雪、暴風雪等が予想される場合には、できる限り車両の運転は避けましょう。
- ・やむを得ず車両を運転する場合は、事前の気象情報、道路状況等の確認、車両の点検整備の確実な実施、防寒対策（防寒着・長靴・手袋・カイロ等）、スコップ、けん引ロープ、飲料水等の準備、スタッドレスタイヤやタイヤチェーンの早期装着を行い道路状況に応じた無理のない運転をしましょう。
- ・車両が走行不能となった場合の早期救助依頼、車両内での待機、マフラーの定期的除雪を行い適切な換気による一酸化炭素中毒の防止、立ち往生してやむを得ず車両を離れる場合にはドアをロックせず、キーを車内のわかりやすい場所に残すこと等が重要です。



(3) 防災気象情報等の活用について

- ・大雪、暴風雪等が予想される場合には、的確に安全確保の行動がとれるよう、防災行政無線、緊急速報メール、テレビ、ラジオ等を活用して早めの行動をとりましょう。

(4) 孤立のおそれがある地域における対策について

- ・豪雪により孤立のおそれがある地域は、食料、水、燃料等の十分な備蓄を図りましょう。



(5) 雪下ろし等の除雪作業中の事故防止について

- ・雪下ろし等の除雪作業を行う場合は、家族・近所への声かけ、複数人での作業の実施、携帯電話の携行、命綱・ヘルメットの正しい着用、はしごの固定、除雪道具の点検・手入れを行い、また、除雪機への巻き込まれには注意しましょう。